



写真出展：総務省消防庁「チャレンジ！防災48」

いつ起きてもおかしくない

「土砂災害」

あなたはどうか備えますか？

6月は「土砂災害防止月間」です。梅雨を迎え、土石流やがけ崩れなど土砂災害の危険度が高まる時期です。自然災害から大切な命を守るためにも、日頃から災害に対する備えをしておきましょう。

Action 1 危険の把握

災害発生に備えるには、まず自分や家族、地域の危険性を知ることが大切です。住んでいる地域や職場、学校などの周辺のハザードマップを再確認し、災害の危険性や避難場所を把握しておきましょう。

ハザードマップは防災危機管理課または各支所で確認できます。
※長門市ホームページでも閲覧可

Action 2 情報の収集

災害から身を守るためには自ら気象情報や避難情報、災害発生情報を入力することが必要です。これらの情報は

Action 3 非常持出品の準備

非常時に備えて、最低3日分の飲料水や食料、夜間に行動するための懐中電灯、情報収集のための携帯ラジオ、救急品や常備薬などをリュックなどに入れ、避難行動時に持ち出すことができるように準備しておきましょう。また、定期的な点検しておきましょう。

災害の兆しが見えたら

- 災害の兆しが見えたら、次の関係機関に場所や状況を連絡するとともに、避難の準備を始めてください。
- 防災危機管理課 Tel 23 - 1111
- 長門市消防本部 Tel 22 - 0119
- 長門警察署 Tel 22 - 0110

できる可能性が高いため、長門市防災メールへの登録をお願いします。
登録方法
e-nagato@xpressmail.jpへ空メールを送信し、折り返し返信される登録用メールの案内に従って登録するか、下記のQRコードから登録してください。



Info1 災害情報とあわせて警戒レベルが伝達されます
内閣府が作成した「避難勧告等に関するガイドライン」に基づき、左図のとおり災害発生の際の高まりに応じて、警戒レベルを5段階に分け、市民が取るべき行動を直感的に理解しやすいものとしています。特にレベル4は災害の危険性が極めて高く、全員避難（緊急避難場所などへの立ち退き避難）が

警戒レベルと市民が取るべき行動

警戒レベル	避難情報や気象情報など	市民が取るべき行動
5	災害発生情報 大雨特別警戒情報など	命を守るための最善の行動をとる
4	避難指示（緊急）	立ち退き避難が危険だと判断される場合は、屋内のより安全な場所に避難する
	避難勧告 土砂災害警戒情報	速やかに緊急避難場所などに立ち退き、避難を開始
3	避難準備・高齢者等避難開始 大雨・洪水警戒情報	高齢者などは緊急避難場所などへの立ち退き避難を開始、その他の市民は避難の準備
2	大雨・洪水注意報	避難に備え、自らの避難行動を確認
1	警戒レベルの可能性	災害への心構えを高める



Info2 防災講座をリニューアル
基本となります。また、警戒レベル5はすでに災害が発生している状況であり、その場の状況に合わせて命を守る最善の行動をとることとなります。
今後は、防災行政無線や音声告知端末末機などによる避難情報や災害発生情報の伝達時に、警戒レベルをあわせて伝達しますので、警戒レベルに応じた行動をとるようお願いいたします。

これまで自治会などの申し込みにより「防災出前講座」を実施してきましたが、地域の災害の危険性や備えなどのさらなる普及を図り、地域防災力を向上させることを目的として、災害の危険性のある自治会などに防災に関する専門的な知識を持つ地域防災マネージャーを派遣し、「防災講座」を行います。

■自治会などでの防災講座
防災危機管理課から時期、場所、具体的な内容について調整します。
■申し込みによる防災講座
これまでどおり随時受け付けます。

自治会や企業、施設、サロンでの集会や研修の機会に利用ください。地域の各種災害の危険性やその対応、自主防災組織に関する内容など具体的な内容をお話しします。

Check! 自主防災組織を設立して、地域の防災力を高めよう

自主防災組織とは「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織です。
災害発生時などに個人が命を守り、危険から回避する「自助」、地域（自治会など）で助け合い、地域住民の安全を守る「共助」、国や県、市が実施する災害対策「公助」を効果的に連携させ、行政と市民が一体となって「災害に強い長門市」をつ

くりあげるため、自治会単位の結成率100%を目指し、自主防災組織の結成を推進しています。設立にあたっては、自主防災組織育成補助金が活用できるほか、専門知識を有する職員が設立に関する支援を行います。
現在、長門市には16の自主防災組織が設立され、防災の知識を深めるための研修や避難訓練などを定期的に行い、市民の防災意識を高めるとともに、地域防災力を高める活動を行っています。



▲避難訓練の事前会議で訓練内容を協議



▲炊き出し訓練の様子



▲避難誘導訓練の様子